

彩りと賑わい、そして風格のあるまちづくり

相馬野馬追地区

南相馬市

相双建設事務所
計画期間:H16~H20

地域づくりの方針

『彩りと賑わい、そして風格のあるまちづくり』
豊かな自然環境と歴史的な行事を最大限に活かし、健康をキーワードとしてハードとソフト事業をバランスよく実施し、良好な景観と生活環境を創造して、交流人口の増加を図り、地域の活性化に寄与する。

主な事業内容

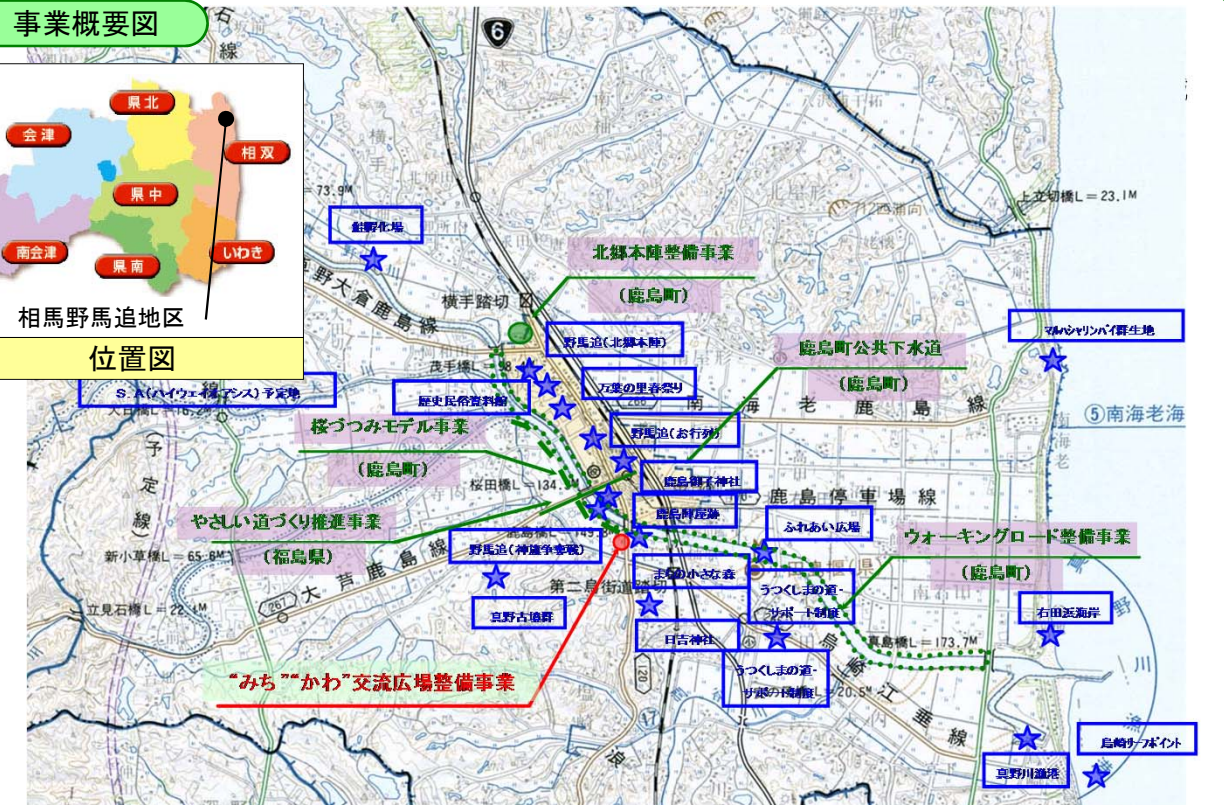
”みち”と”かわ”を活用した地域づくりの拠点とするため、

交流広場

を整備しました。



事業概要図



地域の現状

当地域は、真野川が市街地南側を流れ、太平洋へと注ぐ、山、川、海の自然豊かな地域です。また、市街地を南北に貫く旧陸前浜街道（浪江鹿島線）は区のメインストリートであり、県指定緑の文化財のケヤキや、鹿島御子神社等の史跡等が残されているほか、野馬追行列など鹿島の歴史を物語る行事も行われています。

恵まれた自然・歴史資源を背景とした自然環境共生都市を望んでおり、これらの各資源を有効活用し通年型、回遊型の交流人口の拡大に結びつける施策が求められています。

地域づくりのあゆみ

- 平成16年
・交流広場の有効活用について2回話し合いを実施し意見交換。
・話し合いの中で地域資源の洗い出しを実施。
- 平成17年
・ワークショップ形式による懇談会を「かしま里づくりの会」の名前で実施。真野川周辺整備計画を決定。（計4回実施）
- 平成18年
・交流広場の安全対策工事を一部実施。（車止め←夜間の不法駐車防止のため）
・ワークショップの開催。最も大切な資源は真野川であることを再認識。
- 平成19年
・交流広場の安全対策工事を完了。
・カヌーを利用した川遊びのイベント「まのふえす2007」を実施。
- 平成20年
・上流の「はやま湖地区」との話し合いで、真野川流域全体として今後の展開を考えていくことにした。

実施した感想

（県担当者）

■事業当初からハード整備ありきの展開であり、地域づくりに対する当初方針のずれが、最後まで悪影響を及ぼしているように思われます。

（市町村担当者）

■イベント開催を通じて地域の方々と一体となれたことが良かったです。

（地区住民）

- 話し合ってきたことが実現せず、同じ事ばかり話し合っても仕方が無いと思います。
- イベントが実現したことと、自分たちが計画に参加できました。

事業の効果

■川で遊ぶ子どもたち

「きれいでなければ川には人は来ない。川に入がくればきれいになる。」との考えから平成19年8月19日に「まのふえす2007～真野川遊び・・・初級編」を開催した。151名（内スタッフ54名）の参加がありました。

真野川で遊ぶ子どもたち



地域の課題・今後の展望

イベント開催を通じて共に地域について考え、行動してきた方々を上流域の活動の場に招き、流域として一体となった活動を流域全体の人々と行えるようにしていきます。

整備内容及び利用状況

交流広場工



施工前



施工後



施工前



施工後

利用状況

- ・相馬野馬追いや、真野川でのイベント時に駐車場として解放、利用されています。
- ・日常的な利用は無く、広場の位置、区画の形態等が原因と思われる。
- ・不法駐車車両などの苦情が多数あり現在は車止めをしている状況です。

（今後の課題）

- ・交流広場の有効な利用方法を探っていく必要があります。
- ・現在は利用目的が決まっていないため、舗装をしておらず雑草対策が必要になります。

管理状況

- ・南相馬市と平成21年3月30日に管理協定を締結。